



鄭州潼關間圖

五里堡^{ウリノ}を過ぎて十里堡^{シリンノ}に到れば、其の附近に六個の焼磚窰ありて、毎回六千個の瓦磚を製すと。三官堡^{サンコワンノ}は其の東方一帯の地形は東に緩傾斜を爲して遠く開濶し、村端には東北に面せる掩堡を設け西南方には塀を繞らせり。是れ往年鄭州方向

て、其の得る所反比例を爲すと。之を玩味し來れば、津々盡きざるの理ありて、予も亦此旅行に於て、益々其の眞理を實驗し得たり。眞に旅行家の指鍼とすべきことなるを信ず。